

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年12月14日
【会社名】	株式会社フード・プラネット
【英訳名】	Food Planet, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 カトリーナ・ピニヤスカ
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂一丁目11番28号
【電話番号】	03-4577-8701
【事務連絡者氏名】	代表取締役社長 カトリーナ・ピニヤスカ
【最寄りの連絡場所】	東京都港区赤坂一丁目11番28号
【電話番号】	03-4577-8701
【事務連絡者氏名】	代表取締役社長 カトリーナ・ピニヤスカ
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

1. 当該事象の発生年月日

平成28年12月8日（取締役会決議日）

2. 当該事象の内容

当社は、平成 28 年 9 月期において、連結決算上で営業外収益及び営業外費用並びに特別損失を、個別決算上で営業外費用及び特別損失をそれぞれ計上しました。

(1) 営業外収益の発生及びその内容

持分法による投資利益（連結）

当社の持分法適用会社である Magnoria Bakery Korea Limited 及び Kyochon Asia Development Limited の業績を当社の持分に応じて取り込んだ結果、平成 28 年 9 月期連結会計年度において、持分法による投資利益 7 百万円を営業外収益に計上いたしました。

(2) 営業外費用の発生及びその内容

支払利息（連結）

平成 28 年 9 月期連結会計年度におきまして、借入金返済に伴う支払利息 10 百万円を営業外費用に計上いたしました。

為替差損（連結）

急激な円高により、平成 28 年 9 月期連結会計年度におきまして為替差損 9 百万円を営業外費用に計上いたしました。これは主に、当社グループが保有する外貨建債権（未収入金等）の評価替によるものであります。

貸倒引当金繰入額（個別）

子会社に対する債権について、その回収可能性等を勘案した結果、平成 28 年 9 月期事業年度において、275 百万円を貸倒引当金繰入額に計上しました。なお、本件については、連結上は相殺消去されるため、連結業績への影響はありません。

(3) 特別損失の発生及びその内容

固定資産減損損失（連結）

当社及び当社連結子会社において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失として 2,441 百万円を特別損失として計上いたします。

a.有形・無形固定資産

今後の使用方法及び使用価値を勘案した結果、減損損失として 624 百万円を特別損失として計上いたします。主な内訳は以下のとおりです。

・当社 15 百万円（本社設備等）、(株)チキン・プラネット 115 百万円（店舗設備等）、(株)アイアンフェアリーズ 99 百万円（店舗設備等）、Sweetstar Hawaii ,LLC 250 百万円（店舗設備等）、Nitrogenie Hawaii ,LLC 74 百万円（店舗設備等）、(株)マグノリアペーカー・ジャパン 17 百万円（店舗設備等）

b.のれん

グループ各社の収益力を勘案した結果、1,817 百万円を特別損失として計上いたします。主な内訳は以下のとおりです。

・(株)キューズダイニング381 百万円、Magnolia Bakery Korea Limited 365 百万円、 Sweetstar Asia Limited 341 百万円、Kyochon Asia Development Limited 165 百万円、(株)チキン・プラネット 146 百万円、(株)スイートスター132 百万円、Sweetstar Hawaii ,LLC 128 百万円

関係会社株式評価損（個別）

一部連結子会社のこれまでの事業業績及び今後の見通しを勘案した結果、関係会社株式評価損 2,232 百万円を特別損失として計上いたしました。なお、連結上は相殺消去されるため、連結業績への影響はありません。

3. 当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

当該事象の発生により、平成28年9月期において、下記のとおり営業外収益、営業外費用並びに特別損失を計上いたしました。

個別

（営業外費用）

貸倒引当金繰入額 275百万円

（特別損失）

関係会社株式評価損 2,232百万円

連結

（営業外収益）

持分法による投資利益 7百万円

（営業外費用）

支払利息 10百万円

為替差損 9百万円

（特別損失）

固定資産減損損失 2,441百万円

以 上